

《活気のある学校にしていくために！！》

新学年になってほぼ2か月がすぎました。令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が、2類から5類へ移行され、新型コロナウイルス感染症拡大も収束傾向へと向かっているようです。マスク着用についても個人の判断にゆだねられ徐々にコロナ前の生活様式に戻りつつあります。これからは、今まで以上に活気のある老上中学校になるよう皆さんとともに取り組んでいきたいと思えます。

さて、活気のある学校とはどのような学校なのでしょう。私が思うには、まさに元気で挨拶ができて、生き生きと学校生活を送るということ、何事にも一生懸命で行事等に燃えること、みんなに思いやりがあり、相手意識を持った集団であること、だれもが楽しいと思える学校が活気のある学校なのではないかと思っています。皆さんが学校生活の中で、一番多くの時間を過ごす場所である各学年、クラスを誰もが安心して過ごし、互いに成長できる場所にするために、皆さんに意識してほしいことを二つ話します。



一つ目は、友達の頑張りや良さを認めることです。人は誰でも長所と短所をもっています。どうしても長所より、短所（欠点）が目につきやすいのですが、大事なことは友達の頑張りやよさを認め、褒めることが大切です。これから、学級の中でさまざまな活動があると思いますが、その中で頑張っている姿やよさに気付く場面があると思います。そこでその頑張りや良さを認めることで人間関係が深まっていくと思います。友達の欠点ばかり指摘しあって信頼関係は築けると思えますか？ 友達の頑張りやいいところを認めることが人間関係を築くうえでとても大切なことであり、それが差別やいじめのない学校、学年、クラスにつながると思えます。



二つ目は、人の失敗を笑ったり、非難したりしないことです。学校は何のために来るのか。それは、知らないことを学び、様々な経験を通して中学を卒業した時に必要な知識や社会性を身に付けるために学校に来ています。知らないことを学ぶ訳ですから、当然、いろんな場面、いろんなところで間違えることも多々出てきます。すごく緊張して失敗した経験は誰でもあると思います。大事なことは、間違った発言や、失敗したことに対して笑ったり、からかったりしないことです。思ったことが自由に言える、安心して失敗できるそんな雰囲気

をみんなで創ることで、安心して発言し、互いに学び合える、互いに成長できるクラスができるようになります。この二つのことを皆さんが常に意識して「考動」していけば、生徒一人ひとりが大切にされ安心安全で信頼される学校となり、自然と活気にあふれた素晴らしい学校になると私は確信しています。



自転車交通安全マナーアップ重点校

令和5年度、草津警察署より老上中学校が自転車交通安全マナーアップ重点校として指定を受けました。生徒に自転車の安全利用や交通事故防止の意識を高める目的として毎月1回、草津警察署、交通安全協会等の方々と本校生徒会一体となって校門前で交通事故防止啓発活動を行います。また、交通安全教室やスケアードストレート方式の教室等も実施していきます。



春季総体、吹奏楽祭が終わる

5月18日(木)、19日(金)の二日間、中学校春季総合体育大会が開催されました。また、吹奏楽部は滋賀県吹奏楽祭に参加しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も軽減されマスクも着用せずに大会に臨んでいる生徒がたくさん見受けられました。初日は天候にも恵まれましたが、二日目は雨天のため延期になる種目もありました。そのような中でも、生徒一人ひとりが全力を尽くして競技をしている姿に、たいへん感銘をうけました。春季総体を終えて、夏季大会、コンクールに向けていろいろな課題が見つかったのではないのでしょうか。自分たちに足りないところを分析しながら、次の大会に向けて努力をしてください。練習を続けていけば、きっと次は満足のいく結果をものにする事ができると思います。



